

# 令和4年度第20回埼玉県バレーボール協会長杯争奪中学生バレーボール大会 新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン

～ 感染状況等によっては変更となる場合もある ～ **令和4年4月24日改訂**

大会実行委員会

## 1 参加条件

(1) チームとしての参加条件 以下に該当するチームは参加できない。

○大会当日に、感染症等の影響により、部活動として練習試合等が認められていないチーム。

※参加できないチームが出た場合にも、当該地区からの繰り上げ出場はなしとする。

(2) 個人の参加条件 当日、以下の①～④のいずれかに該当する者は入館できない。

①新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)に感染している。

②感染症の濃厚接触者である。

③37.5℃以上の発熱、息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)の、いずれかの症状がある。

④新型コロナウイルス感染症による学年閉鎖の学年、学級閉鎖の学級に該当する選手及び教職員。

保護者、チームスタッフについても同様の基準とする。

※チームの監督は、各選手および保護者に大会参加の意思を確認すること。このことによるトラブルが起こらないよう留意する。

(3) 基本的な感染症予防の遵守 ・マスクの着用 ・手洗い等の徹底 ・3密の回避

## 2 大会当日の手続き

(1) 入場制限 ①予選における保護者の応援や会場に入れる人数等については、各会場ごとの指示に従う。

②県大会については以下のとおりとするが、会場および県の指示を優先する。

発出されている宣言	保護者の人数	生徒の人数	学校関係者の人数 (管理職・副顧問など)
緊急事態宣言	大会は中止する		
まん延防止等重点措置	最大2名	登録選手18名以内 マネージャー1名以内	監督・コーチ以外に 1名まで
発出なし	その試合でベンチに入る生徒と同数(マネージャーを含む)最大13名	部員全員	監督・コーチ以外に 2名まで

※入館する保護者は試合ごとに入れ替わってもよいが、健康観察表に記載された者に限る。

※未就学児は人数に入れませんが、感染状況等を踏まえ保護者が責任をもって判断すること。

※学校関係者には保護者は含まない。外部指導者としてコーチを兼ねる場合を除く。

## (2) 入館および退館について（県大会の場合）

- ①チームは保護者等も含め、定められた時間にできるだけまとまって入館する。  
入館時刻は競技要項に定める。
- ②試合が終わったチームの入館者は、競技や審判役員が終わり次第、速やかに退館する。退館の際は、自チームが使用した観客席等の消毒を行う。

## (3) 健康観察

- ①各チームの監督は、学校で行っている健康観察表等をもとに、チーム入館者の一覧表（様式1・2）を作成し、当日大会本部に提出する。（その日ごとに提出するので、体温等を記入する前にコピーを取っておくとよい）
- ②入館の際、全員の検温を行う。

## 3 大会参加者が準備・実施すべき事項

### (1) マスクの着用

- ・スタッフは、練習中もマスクを着用する。
- ・リベロプレーヤーは、ベンチにいる間もマスクを着用する必要はないが、他の参加者との距離を確保する。

### (2) 競技中の注意事項 ※日頃から指導をしておく

- ・試合前などの円陣やベンチでの集合時においても、できるだけ密集・接触を避ける。
- ・手をつないだり肩を組んで行う円陣、ハイタッチ、ネット際で相手に向けた状態での発声、大きな声での応援等は控える。
- ・試合前後のチーム同士や審判とのあいさつでは、握手は行わず、一礼などでこれに代える。

### (3) 用具等の消毒について

- ・ベンチの消毒は、使用したチームが行う。
- ・コートチェンジは、~~まん延防止等重点措置が発出している場合には行わない。~~  
感染症の状況を踏まえ、本大会では行わない。

### (4) 大会中の健康管理

- ・生徒の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴取等が求められることも想定し、監督は学校、保護者と確実に、速やかに連絡が取れる体制を構築しておく。

## 4 大会後に、参加生徒または顧問（関係指導者）、応援保護者、役員等の感染が判明した場合の対応

※大会終了後2週間以内に感染症を発症した場合は、感染者の所属する学校や行政機関の指示に従うとともに、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

大会実行委員会（川越市立福原中学校内・小野沢一宏） TEL：049-243-4140

- ・主催者は、当該の会場責任者と関係するすべての者に、各責任者等を通じて連絡をする。
- ・感染者が発生した場合、感染者を特定しようとすることや、SNS等で誤った情報を発信することのないようにする。